

## (旧)神戸中学校敷地活用について

**(質問)** 平成22年9月に移転した神戸中学校跡地について、平成26年9月に跡地南側に幼稚園建設予定の計画が挙げられたが、平成30年に見直しがあり、移転は見送りとなった。その後、全面売却の方針で検討しているとのことだが、交通渋滞、踏切の幅員拡幅の問題が解消されないまま売却を進めるのか。広く市民の声を聴き、

利活用に生かすように、プロポーザル方式を採用できないのか。

**(答弁)** 敷地の活用方法は、一戸建て住宅のほか、集合住宅も建築可能である。住宅以外にも、病院や医院、児童福祉施設、老人ホームといった福祉施設など、跡地の利活用の選択肢は広いものとなっている。

プロポーザル方式も有効な方法であり、今後あらゆる売却方法を検討し、庁内合意を行っていききたい。

### その他の質問○消防力について

## 鈴鹿市財政と公共施設整備について

**(質問)** 本市の法人市民税の伸びが一向に回復しない原因は何か。財政が厳しいと、公共施設、特に学校施設整備の遅れが著しく、老朽化した施設という大きな負の財産を後年度に残すことになる。実質公債費比率の上限をにらみながら早急に整備を行うべきではないか。

**(答弁)** 法人市民税は、法人税を基準額とし

て市の税率を乗じているが、リーマン・ショックの影響などから業績が悪化し、主要法人の法人税割が発生しなくなったこと、また、法人税率の段階的な引き下げ、法人市民税率の引き下げなど国の税制変更も要因である。臨時財政対策債は、地方交付税の不足分を補うもので、その元利償還金は、後年度の基準財政需要額に算入される。公共施設整備は、個別施設計画の中で計画的な老朽化対応や、財源として適正な地方債の活用を行っていく。

### その他の質問○駅周辺の防犯について

## 保育園の休日祝日保育について

**(質問)** 公立で、子育ての拠点として新築整備する西条保育所での休日祝日保育を検討してはどうか。保育士不足の根本原因である私立保育所での低賃金と、公立の保育士との賃金格差について、処遇改善のための財政的援助や休日保育事業への補助を検討してはどうか。

**(答弁)** 昨年度の日曜保育実績は、1日平均

約10名、祝日保育実績は、1日平均約23名であった。近年、休日保育のニーズが急激な増加傾向であることは把握しており、その対応には保育士不足の解消につながるような取り組みが必要と考える。2020年4月開園予定の西条保育所では、病後児保育と一時預かり事業を検討しているが、休日保育は現段階では難しい状況である。保育士の処遇改善については、今後も国や県に強く働きかけるが、市独自の補助は難しいと考える。

### その他の質問○生活保護行政について

## 教職員の働き方について

**(質問)** 政府の「過労死対策白書」の重点5業種の中に教職員が挙げられ、全国調査では1日当たり平均勤務時間が11時間を超え、「過労死ライン」の月80時間を超える時間外労働が常習化している。本市の教職員の実態はどうか。また、土曜授業を年3回に減らしているが、全てなくすべきと考えるがどうか。

**(答弁)** 平成29年度の教職員1人当たりの月平均時間外労働時間は、小学校26.5時間、中学校40.6時間、月80時間超えは、小学校60人、中学校589人である。軽減策としては、不登校傾向にある児童生徒への支援などの人的支援、学校休校日の設定などの制度的支援がある。なお、土曜授業については、年8回を3回に減らしたが、今後については検証を重ね、中学校の部活動などをさらに見直し、週2日の休養日を設定するよう改定を進めている。

### その他の質問○通学路の安全について